

オンライン音楽講義のご案内

学問としての音楽

～芸術家たちが見つめていたもの～

イデア・ミュージック・アカデミー/東海教室主任

日野 あゆみ

日頃は当アカデミーにあたたかなご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

4月20日に開催しました、中西学院長による【第11回オンライン音楽講義】無事終了いたしました。室町時代に活躍した能楽師“世阿弥”は、現代能楽の礎を築いた一人です。舞台人として、能作者として、また教育者としても大変優れていた世阿弥の視点や無心への挑戦は、著書『風姿花伝』の中にも多く読み取ることができ、日本人のみならず芸道を歩む世界中の人々の心に響いてくるものがあります。ご参加くださった方々、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

次回は、第12回【理想的な音楽教育を目指して～ネイガウスに倣って～→皆様と意見交換をしながら】を下記の内容で開催いたします。いよいよ最終回となります。全回の講義内容につきましては、別紙をご覧ください。第11回までのアーカイブ受講もお申込み可能です。なお、講義内容の順序は変更になる可能性がございます。あらかじめご了承ください。

記

1. 日時	第12回：2023年5月25日（木）午前10時30分～ 時間配分：講義30程度、ディスカッション30分～。 <u>※ディスカッションはアーカイブ配信いたしません。</u>
2. 受講料	料金は一律 2,000円/1回 (現在、1ヶ月に1回のペースで、全12回を予定)
3. オンラインツール	Zoom
4. お申し込み・お問い合わせ	E-mail：idea.music.academy@gmail.com <u>氏名・メールアドレス・受講希望</u> をご記載の上ご連絡をお願い申し上げます。 ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。
5. 振込先	お申し込みいただいた後に、メールにてお伝えいたします。
6. 期日	・ 第12回 Zoom 申込締め切り 5月24日（水） ・ 第12回 アーカイブ 申込締め切り 6月23日（金）
7. アーカイブ配信	講義受講者及びアーカイブのみ申込者対象にYouTube限定公開

以上

学問としての音楽

～芸術家たちが見つめていたもの～

イデア・ミュージック・アカデミー/学院長

中西 誠

1. バッハの目線に立つて⇒
 - I：プラトンのイデア論（インヴェンションを通じて）
 - II：ピタゴラスの弦の分割論（平均律を通じて）
 - III：楽譜に隠された秘儀と象徴（マタイ受難曲を通じて）
2. 汚い音楽を書いたモーツァルト⇒モーツァルトに起きた作曲の危機（バッハとの比較）
3. ベートーヴェンが求めたもの⇒
 - I：ベートーヴェンの勉強部屋 ～師ネーフェからの教え～
 - II：交響曲第五番vs交響曲第六番
 - III：ベートーヴェンからの問いかけ
～シラー、カント、ヘルダーリン、ハイデガー、アドルノと交響曲第九番～
4. ミサについて⇒西洋音楽の本質中の本質であるミサについて（バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、フォーレの宗教曲）そして聖書
5. 芸術の変遷と時代背景⇒何故ハーモニーは崩壊したのか（絵画、文学に触れながら）
6. 文学と美術における象徴⇒シェイクスピアと絵画、ゴッホと文学（おいおい、逆やろ）
7. 実際の演奏とレッスンへの考察⇒世阿弥の無心への挑戦に学ぶ
8. 理想的な音楽教育を目指して～ネイガウスに倣って～⇒皆様と意見交換をしながら